平成 29 年度入試　個別学力試験問題

総合問題（出題意図）

《後期日程：法文学部言語文化学科》

1

第１問は，リスクへの対処が重視されるリベラルな現代社会において「責任が賭けとならざるを得ない」ことを論じる哲学者の日本語文を題材とし，日本語の読解力と表現力，ならびに論理的思考力を問う問題です。

問１　漢字の知識を問いました。

⒜　配偶者　⒝　追及　⒞　制御　⒟　規範　⒠　保証

問２　題材とした日本語文を正確に読解し，その内容を与えられた条件に即して簡潔に表現することができるかどうかを問いました。

問３　題材とした日本語文を正確に読解し，その内容を適切かつ具体的に説明できるかどうかを問いました。

問４　題材とした日本語文の議論の論理を正確に読解し，その内容を的確な語句を用いて端的に表現することができるかどうかを問いました。

問５　題材とした日本語文で筆者が展開している主張の核心部分が何であるかを把握し，把握したその部分の内容を詳細に説明することができるかどうかを問いました。

2

第２問は，日系イギリス人作家のカズオ・イシグロへのインタビュー記事の英語文を題材とし，外国語に関する読解力と表現力，ならびに論理的思考力を問う問題です。

問１　題材とした英語文を正確に読解し，与えられた条件に即して適切に日本語に翻訳することができるかどうかを問いました。

問２　題材とした英語文を正確に読解し，その内容を与えられた条件に即して的確に表現することができるかどうかを問いました。

問３　題材とした英語文の一部を空欄にし，そこに入れるのに適切な英語表現を再構成させることで，文法的に正しく前後の内容にも適合した英語を作成できるかどうかを問いました。

問４　題材とした英語文を正確に読解し，その内容を与えられた条件に即して的確に表現することができるかどうかを問いました。

問５　題材とした英語文を正確に読解し，その内容を与えられた条件に即して的確に表現することができるかどうかを問いました。

問６　題材とした英語文を正確に読解し，その内容を与えられた条件に即して説明することができるかどうかを問いました。